

令和4年10月4日
福岡市福祉局福岡100推進課
障がい企画課

市政記者各位

福岡 100 がアップデートし、次のステージへ

— 何歳でもチャレンジできる未来のまちへ —

福岡市では、人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる持続可能な社会をつくるプロジェクト「福岡100」に取り組んでいます。「福岡100」では、2025年までに産学官民「オール福岡」で100のアクションを実践することを目指し取組みを進めていましたが、その100番目のアクションとして、「福岡100」のコンセプトをアップデートし、プロジェクトを次のステージへと展開させることとしました。

また、「福岡100」の理念の具現化を産学官民で推進する仕組みとして、企業等からの事業提案窓口「福岡100ラボ」を創設。さらに、新たなコンセプトに基づいたリーディング事業として、多様な働き方や活躍の場をつくる「Beyond バリアプロジェクト」を開始します。

福岡市は、何歳でもチャレンジできる未来のまちをめざし、取組みをさらに加速させていきます。

記者発表の概要

①福岡100のアップデート

- 100アクションの達成はゴールではなく、これからも**人生100年時代にむけたまちづくりにチャレンジ**し続けます
- これからは、健康寿命延伸に加え、**市民一人ひとりの Well-being の向上**を目指します
- 市民一人ひとりの Well-being の向上のために、**新たに6つの分野を定め**、重点的に推進します
- 産学官民オール福岡でビジョンの具現化に取り組み、誰もが「福岡100」による**暮らしの変化を実感できるプロジェクト**に発展させます

②福岡100ラボの創設

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）が新たに立ち上げる「福岡100ラボ」は、「福岡100」を産学官民オール福岡で実現していくための企業等からの事業提案窓口であり、社会実装に向けた共創の場です。社会実験の共同実施から、ソリューションの市内での展開まで、一体的に支援します。

③「Beyond バリア プロジェクト」

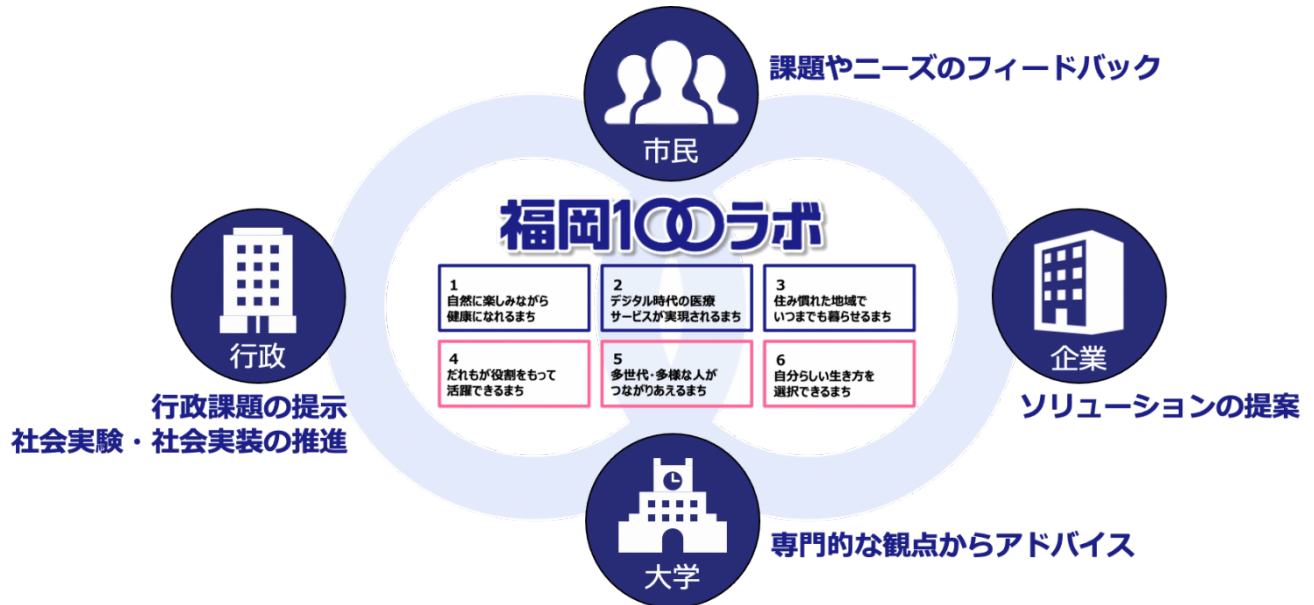
だれもが役割をもって活躍できるまちを目指し、高齢者や障がい者などの様々な属性の様々な環境にある方の就労や社会参加を促進するため、時間や距離、参加手段等の制約を超えた多様な働き方、多様な活躍の場をつくるプロジェクト。

令和4年度は、第1弾として重度障がいや難病などにより外出が困難な方の社会参加のため、分身ロボット OriHime を活用した事業を開始。

福岡 100 ラボについて

1. 「福岡 100 ラボ」の概要

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）が新たに立ち上げる「福岡 100 ラボ」は、「福岡 100」を産学官民オール福岡で実現していくための企業等からの事業提案窓口であり、社会実装に向けた共創の場です。社会実験の共同実施から、ソリューションの市内での展開まで、一体的に支援します。



2. 「福岡 100 ラボ」の流れ

- ① 「福岡 100」が目指す6つのまちを具現化する事業について、企業等からの提案を随時募集します。
 - **福岡 100 ラボ HP にて、本日より提案受付を開始！** <https://f-100lab.jp>
- ② ①のうち、特に官民が共同で取り組むべきテーマに対して、社会実験を行うソリューションを公募します。（第1回公募は令和4年度冬を予定）
- ③ 提案企業と福岡市が共同で社会実験に取り組み、市民の Well-Being 向上などビジョンの実現につながるか検証します。
- ④ 成果が確認されたソリューションを市内展開し、社会実装を目指します。

3. （参考）福岡地域戦略推進協議会（FDC）とは

福岡地域戦略推進協議会（会長：麻生泰）は、福岡の新しい将来像を描き、地域の国際競争力を強化するために、地域の成長戦略の策定から推進までを一貫して行う、産学官民一体の Think & Do タンクです。福岡都市圏を核として、九州、さらには隣接するアジア地域との連携を図り、事業性のあるプロジェクトを推進しています。

福岡 100 ラボでは、FDC の産学官民約 200 団体のネットワークとリエゾン（連携・橋渡し）機能を活かして、マッチング等の実装支援を行ってまいります。

福岡 100 ラボ公式 HP (<https://f-100lab.jp>)